

男女混合相撲大会
フンドシも脱いじゃって
みんなで乱交！！

この日は男子生徒たちが待ちに待った男女混合相撲大会だ。

学級会での計画討論の際に意見が割れたが結局男子たちの主張が通り、女子たちも一緒に参加することになった。

しかし、どう見ても男のスポーツである“相撲”にノリ気の女子はいるはずもなく……。

「ほんと男子たちの言いなりじゃんあたしたちい……」

「だよね！あたしたちもフンドシだなんて恥ずかしすぎるよお」
などと言いながら当日、渋々登校してきたのだった。

そして3時間目。

体育の時間を変更し、近くに住む年配市民の愛好家たちが結成した小さな相撲クラブの施設の土俵を借り、早速相撲大会は始まったのだった。

「こっ、これほんと恥ずかしいよお！！」

裸に白いフンドシを腰に巻いていく女子たち。

さすがに皆、羞恥の悲鳴を上げる。

更衣室はないため、土俵がある広間の隅っこの稽古用の場所で着替える女子たち。

そして男子たちもまた衣服を脱いでいく。

確かに男子たちは相撲が大好き。

だけど女子たちも一緒に参加することになった今、男子たちが楽しみにしていたのは相撲などではない。

女子たちの……。

ブリンッ！！

ブリンッ！！ブリンブリンッ！！

大きなお尻と巨乳が揺れる。

女子たちが着替え終わり、男子たちの近くへ……。

女子たちはブラジャーだけはつけさせて欲しいと計画段階で懇願したのだが、結局勢いに勝る男子たちの意見が通り、

“裸にフンドシ”のみ。

「はっ！はやくう・・・相撲して終わればいいんでしょ！！」
一様に顔を紅潮させて恥ずかしそうにしながら、決して力士のものほどの厚さはない薄っぺらい布切れ一枚となった股間をモジモジさせる。

男子たちは・・・。

「いつでもやろうぜ！！おれたち準備万端だからさっ！！」

元気よく女子たちに告げる。

そして、男子たちは着替える必要がなかった。

それは男子たちが全員全裸だったからだ。

総勢16名いる男子たちが、揃ってスッポンポン！！

女子たちとの遊びの相撲で、フンドシなどいらぬ！！といった具合だ。

もちろんこれも男子たちの共通意見だ。

ブラジャーもせずにフンドシだけを付けさせられ、おまけに男子たちの素っ裸を見せられ・・・女子たちはもはや前代未聞の混乱状態だ。

挙句の果てに・・・。

「ちよっ！！だ！だけど男子たちい！！それはちよつとさっ！！な、なんていうか・・・ひ、控えてよねえ！」

女子たちが頬を赤らめ、そう訴えるように叫びながら視線を向けているのは男子たちの“股間”だ。

まるで足の付け根に逆向けの“生きているバナナ”でも付けているかのように、肌色の上反り肉棒がビクンビクンと震えている。

先っぽからはニュルニュルの透明液。

男子たちが準備万端なのは、果たして“相撲”なのか??という状態だ。女子たちのムッチムチの体で勃起しているのは自明の理だった。

体験版はここまでです